



အတူတူ
IL IL

アトウトウは、



ビルマ語で「共に」



アトウトウ ミャンマー支援

～顔と顔が見える小規模支援～

2021.2.1のミャンマー国軍によるクーデターにより、苦境に追い込まれているミャンマーの人びとのために。本国で、そして日本で暮らす35,000人以上のミャンマーの人びとと人権と生活が支えられるように支援協力します。

献金先

郵便振込 00190-4-119379 加入者名：外キ協

通信欄に「ミャンマー」と記してください。

共同代表

マキンサンサンアウン（杉並中通教会牧師）

渡邊さゆり（マイソリティ宣教センター共同主事）

賛同者募集

ご賛同者、団体を受け付けています。

賛同者の連絡は s.watanabe@cmim.jp までお名前、肩書き/団体名をお知らせください。

同行・相談支援

日本語習得のサポート

アトウトウ
ミャンマー支援
အတူတူ
IL IL

緊急経済支援
(物品の販売など
あります)

在日ミャンマー人が行う
本国支援へのサポート

「アトウトウ」設立に至る経緯 そして呼びかけ

2020年、コロナ感染拡大によって日本に住むミャンマー人たちは苦境に陥りました。さらに2021年2月1日、ミャンマーにおける軍事クーデターにより、在日ミャンマー人は帰国困難となりました。このような在日ミャンマー人に対する生活支援が急務であると考えた私たちは、「アトウトウ ミャンマー支援」を立ち上げることにしました。（「アトウトウ」とは、「共に」という意味のビルマ語）。2021年6月現在、35,000人のうち、2,500人近くが難民申請を複数回繰り返し、却下の不服申し立てを続けて闘っている状況です。2021年クーデター後もそのままの状況で、帰国困難者への手当は進んでおらず、就労できない、国民健康保険に加入できないという命を脅かされる危機的状況に追い込まれています。その他の在留者は、1年もしくは3年の在留特別資格、または永住資格によって日本で生活しています。また、技能実習生の労働環境は劣悪なところもあり、心身ともに疲弊して逃げ、ヴィザ切れにより隠れて生活をする事となり、生活状況は悪化しています。帰国困難となったミャンマー人留学生、技能生のヴィザの期限は刻々と迫っています。88年の際に逃げてきた本人とその子孫たちは、30年にわたって日本で生活基盤を築き上げ、この状況の中でミャンマーに帰国することは困難です。このような在日ミャンマー人の状況に目を向け、顔の見える支援を協働してゆくことから、ミャンマーと日本の関係も、搾取や利権ではなく和解と平和の実現の道を歩みたいと願い、活動を始めました。どうぞ賛同ください。

「アトウトウ」の主な活動内容



1. 在日ミャンマー人の日本での安定した生活を実現するための相談・同行支援
 - 1) 在留資格に課題を持つミャンマー人に対するヒアリングと相談活動
 - 2) 入管への同行支援
 - 3) 在留資格取得後のフォロー（住民登録、国民健康保険加入、就労支援など）
 - 4) 病院、役所など、手続き上の同行支援や通訳支援
2. 日本での安定した生活を実現するための日本語学習・文化交流の支援
 - 1) 日本語学校での就学が経済的、時間的に困難なミャンマー人の日本語学習を支援
 - 2) 居住地域の外国人支援団体への連絡と連携
 - 3) 他のミャンマー人コミュニティとの交流や、地元市民との出会いと交流活動を支援
3. 日本での安定した生活を実現するための経済支援
 - 1) 物品製作と販売の支援
 - 2) 帰国が困難な困窮者への緊急一時金の支給
4. ミャンマー本国の困窮者への支援
 - 1) 在日ミャンマー人がおこなうミャンマー本国への支援のサポート
5. 情報発信
 - 1) 2カ月に1回、ニュースレター日本語版（2～4ページ）を発行し、「アトウトウ ミャンマー支援」の活動を報告。PDFをメールで賛同者や関係団体などに送信。
 - 2) 運営態勢が整ったら、ニュースレター日本語版・ビルマ語版を定期的に発行して、「アトウトウ ミャンマー支援」の活動報告と、在日ミャンマー人の意見や証言を紹介。PDFをメールで広く日本社会に発信。

オンライン「ミャンマーを覚える祈り会」 毎週金曜日 21:00～21:40

最新の情報共有と祈りの場を皆さんと持ち続けています。

ZoomミーティングID: 835 4339 0368

パスコード: 540189